



青森市長
西 秀記

函館市民の皆様、明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、心新たに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

函館市と青森市は、古くから津軽海峡を越えて人や物が往来し、青函連絡船の就航や青函トンネルの開通など、時代とともに深い結びつきを築いてまいりました。そうした歴史の積み重ねの中で、青森市は昨年「青森開港400年」という大きな節目の年を迎えることができました。

そして今年は「青森まちづくり400年」という記念すべき年を迎えます。様々な記念イベントを企画しておりますので、ぜひ青森市にお越しいただき、共に未来について考える機会になることを期待しております。

また、昨年12月には東北新幹線新青森駅開業から15周年、さらに本年3月には北海道新幹線開業10周年と、両市の交流を支えてきた新幹線も節目の年を迎えたところであります。

これらを契機として、青函ツインシティの絆がより一層深まり、これまで培われてきた一つひとつの交流の輪を発展させ、青函両地域の活性化に繋がるよう取り組んでまいりますので、変わらぬ御支援御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして素晴らしい1年となりますよう心から祈念申し上げます。

令和8年
函館市長・青森市長
新年のごあいさつ

謹賀新年

祝

今年は北海道新幹線開業10周年♪



函館市長
大泉 潤

あけましておめでとうございます。

令和8年の新春を皆様とともに迎えますことを心よりお慶び申し上げます。

昨年は、過去最多の70回を超えるクルーズ船の寄港や、13年ぶりとなる函館～韓国・仁川便の就航などもあり、多くの観光客でまちが賑わいました。観光入込客数が過去最高を記録した令和6年度の勢いは今なお衰えることなく、好調に推移しており、本年は北海道新幹線開業10周年の節目の年でもありますので、さらなる賑わいに繋げてまいりたいと考えております。

本市は、高い評価をいただいている食や景観をはじめ、陸海空の交通アクセスの良さなど、数多くの強みや魅力を持ったまちであり、本年もそうした魅力を様々な分野でさらに磨き上げ、市民の皆様がより暮らしやすく、地域に誇りと自信を持ち、「ここで働きたい・住みたい」と思えるよう、住んで良し、訪れて良しのまちづくりを加速させるとともに、都市のステータスを高めて、より多くの方に選ばれるまちをめざしてまいります。

結びに、今年1年の市政運営にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、新しい年が皆様にとりまして、喜びと幸せに満ち溢れた年となりますことをお祈り申し上げます。